

広報みしま

「酒やタバコの税金は」… =三中で租税教室=



義務を果すことによって、明るい社会が運営されているということ生徒たちに理解できたようす。

三年生を対象に「租税教室」が開かれました。

若いうちから税に感心を持つてもらいつかっての税は、取られるもの」といった誤った概念を改め納められた税が結局は社会のために生かされて使われているのだと、いうことを勉強してもらおうと、長岡税務署が開いたものです。

難しい税の話を、中学生にもわかるように詳しく説明される講師の川井保明副署長の話に、生徒たちは最後まで真剣に聞き入り、最後には「脱税はどうして見つけるのですか」「酒やタバコの税金はどのくらい」など、納税の

月十六日から三月十五日までです。申告すれば還付される例としては、①住宅を新築したり、新しい還付の申告は早めに

所得税の確定申告と納税は、二月十五日以前の今でもできます。申告すれば還付される例としては、①住宅を新築したり、新しい

定申告の必要がなくなった人、な

住宅を購入した人、③災害や盗難にあって損害を受けた人、③年の中途で退職し、年末調整を受けた人、④予定納税をしたが確

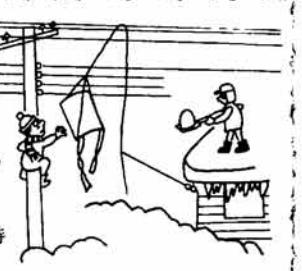


新區長さんです

(敬称略)

サラ金によるトラブルを防ごう

安易な気持で借りると後で困ります。本当に必要な資金かどうか、返済の確実なメドがあるかどうかなどよく考えてからにしてください。



電気・電話の 引込線に注意

屋根の雪おろしの際には電気、電話の引き込み線を切らないよう十分注意して作業をして下さい。
<作業停電> 2月7日、午前9時～午後3時、新保と大野の一部。



ふれあいの 紙面

町のすがた

(1月1日現在)

第130号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和54年1月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
☎ (025842) 842221
昭和53年7月4日第3種郵便物認可
印 刷 長岡市篠中越タイプ社

人口	男 3,340人 (+3)
女	3,544人 (-1)
計	6,884人 (+2)
世帯数	1,565 (+1)
()	は12月1日との比較



1月8日、町体育館で小学三年生以上の町内三校児童、生徒を対象に「競書大会」が開かれました。当日は学期の初登校日にもかかわらず、五百人近い書家が勢ぞろい、達筆を競い合いました。

中学生クラスともなると、筆づかいやしぐさの一挙一動が堂に入ったものででき上った作品の前で思わず見とれてしまふばかりのできばえでした。社会人になって一番役に立つものは何だと問われて、それは「字」と、答える人が多いように、その人の性格までも表わす「書」をこうして学ぼうとする子供たちがおおぜい育ってくれるのは、本当に頼もしいことです。

かつて、高福祉の実現とか、ゆりかごから墓場までとかの言葉のもの……という概念をお互いに暗黙のうちに認め合はなければならない。それが足りるはずの分野にまで介入していたらずに職員を多くしておけばやされたことがあった。その結果、個人の責任に委ねておこべき、あるいは委ねておこすべき新しい手法が試みられてはやさなかったのも知れない。しかし、テンボの早い八十年代をむかえようとしている今日このよくな、「おまかせ主義」があつてはならない。

最近は、全国の自治体で、このよくな、「おまかせ主義」があつてはならない。このよくな、「おまかせ主義」があつてはならない。

もはや、住民ひとり一人の正しい自治意識にもとづく、「みんなの手で町づくり」が主流とならなければならない。そこでこの広報紙だが、町政の参画者であり、良き理解者である住民にキメ細かな広報サービスをモットーに、いわば行政と住民の「ふれあいの紙面」。そ

